

第6回 電子情報化委員会 議事録（抜粋）

日時：2003年 6月10日（火曜日） 15:00～17:30

場所：JCI 第4会議室

出席者：丸山委員長、野口次期委員長、中村幹事、橋本、柄、森、山本、岸本の各委員

配布資料：

6-0 電子情報化委員会（第6回）議事次第

6-1 第5回電子情報化委員会議事録（案）

6-2 年次大会電子関係スケジュール2004高知（草案）

6-3-1 JCI年次大会論文査読者（内部査読者）アンケート

6-3-2 査読者アンケートよりシステムに対する意見とその対応策（案）

6-4 電子化検討項目

6-5 年次大会（京都）CD-ROM 概要

議事：

1. 第5回議事録（案）

- ・中村幹事より第5回電子情報化委員会議事録（案）の確認が行われ了承された。

2. 大会論文査読システムについて

- ・丸山委員長より理事会に於いて下記の提案が認められた旨報告がなされた。

1)従来、事務局より郵送していた査読論文を、(査読者が) Web 上より直接ダウンロードできるシステムを構築することが認められた。

3. 電子決済について

- ・理事会において、海外からの支払いについてカード決済を行うことが認められた。システムの稼働は1年後の予定。
- ・国内向けのカード決済については、現状の他の決済方法と手数料負担等に差異があるため今後さらに検討する必要がある。
- ・e チケットについては今後1年で問題点を拾い出して検討を行い、次年度以降の課題とする。

4. 研究委員会報告書、シンポジウム論文集等の電子化について

- ・今後の委員会報告書は電子媒体により提出して頂くように丸山委員長より研究委員会委員長（都立大 吉村先生）に依頼を行った。
 - ＞ 電子化するにあたってのひな形が必要ではないか？
 - ポストピーク研究会のとりまとめは中村主査がとりまとめを行う。
 - 研究委員会副委員長の二羽先生にお願いする方法もある。
- ・とりあえず事務局にデータの確保をお願いする。最近の研究報告として、ポーラスコンクリートの設計・施工法研究委員会（主査：三重大 畑中先生）のものがあるので、主査と担当の松田さんとで原稿のチェックおよび仕事分担を検討して頂く。
- ・協会誌（コンクリート工学）については、現在デジタルデータで行っていないので、電子媒体化をすぐにするのは困難である。

5. 査読システムに関するアンケート（内部査読委員対象）

- ・京都大会の査読委員の方々に、“内部査読者選定システム”と“査読システム”の2つのシステムについてアンケートを行った結果、システムに対する評価は概ね良好であった旨報告

された。(システムを”悪い”と評価した委員は前者のシステムで0名、後者で1名)。

- ・機能的な部分に対する指摘は KCC に情報を提供する。
- ・その他、査読そのものに関わる事項については査読委員会の決定事項であるため、査読委員会へ情報を提供する。

＞ 査読システムを運用した結果、従来”朱書き”により行われていた細かい修正(て・に・を・は等)が行われなくなった。特に、表紙の体裁について規則が守られていないものが増えており、論文としての品位を保つためにも対応を考える必要がある。対応策としては、内部査読者用の体裁に関するチェックシート web 上に作り、その結果が自動的に投稿者に送られるシステムが考えられる。

→ 査読委員会へ査読時に特に注意して頂く点についてまとめ、これを報告するものとする。担当は岸本委員。

- ・査読システムについては、7～8月に原案を作成し、9月の査読委員会で確認してもらい、11月中には変更する。

6. 京都大会 CD-ROM に関して

- ・京都大会論文集 CD-ROM の表紙について紹介された。
基本的な事項は昨年度のもの変わらず。対応 OS について一部追加が行われた。
- ・論文検索時における表示形式について
著者名表示枠が固定値であるため、委員会報告の一部(7名の表示時のもの)では、表記される名前が途中で切れる旨を講演部会に通知したが、特に意見はなかった。(論文については全員の名前が完全に表記される。)
- ＞ この問題は今後も、各年の講演部会で取り上げられる可能性があるため、抜本的な対応の用意をするのが望ましい。
- ＞ アドビシステムの Acrobat Reader は製品名が変更になる予定。CD-ROM の記載に注意する必要がある。

7. 京都大会論文検索システムデモについて

- ・担当は中村幹事、岸本委員が行う。
- ・場所についての説明がなされた。

8. 高知大会(2004)、名古屋大会(2005)について

- ・高知大会では会場で LAN が組めないため、個々の講演会場でデータのやりとりを行う予定。
- ＞ LAN を組まなくても、データのやりとりは1カ所で集中管理するほうが良いのでは？
- ・高知大会は、講演会場は高知工科大学。講演部会委員長は菅野先生(広島大学)。

9. 会員データベースについて

- ・会員のデータベース修正については、9月頃に行う予定。
- ・Web 上での修正を可能とするためには、現在のソフトでは対応できない。またデータ保護の点についてより慎重な対応が求められる(審議中)。

10. 委員長、委員の交代について

- ・丸山委員長に代わり、野口博先生(千葉大)が委員長を担当される。
- ・柄委員、森委員については現在重要な作業を担当して頂いているため、交代委員との重複期間を十分長くにとって頂きたい旨、委員長より依頼がなされた。

11. 大会講演時の質問の希薄化について

- ・論文集の CD-ROM 化に伴い、講演時の質問が希薄化しているという指摘がある。これに対応する案について話し合われた。
- ＞ 時間をかけて話し合うべき問題。講演部会で検討してもらうようにする。

12. その他

次回委員会を8月20日（水）15：00～18：00に新旧委員合同で行なう。